



# 丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く みんなも輝く ～

平成 30 年 11 月 30 日 (金) No. 8

横浜市立丸山台小学校長 新井 篤志

## 人権について考える

校長 新井 篤志

12月1日は丸小フェスタが行われます。各学年とも4月から学習してきたことをもとに子どもたちがテーマを決めて調べ、様々な方法で発表します。子どもたちは調べたことをわかりやすく伝えられるように工夫をしてきました。丸小フェスタを通して、見通しをもって物事に取り組む力や、調べたことから自分の考えをまとめて表現する力が育ってほしいと考えています。

さて、今年是世界人権宣言70周年の節目の年です。20世紀は2度の大戦が起こり、その中で人権侵害や人権抑圧等が横行しました。この経験から、1948年12月10日国連第3回総会で「世界人権宣言」が採択されました。人権問題は国際社会全体にかかわる問題で、人権の保障が世界平和の基礎であるという考え方が主流になってきました。

世界にまで目を向けなくても、日々の私たちの生活が安心して過ごせるためにはどうしたらよいかを考えたときに、様々な人権にかかわる課題を解決していくことが必要であることに気づかされます。今は時代の変化が速く、今までに経験したことのない状況が起こったり、今までの価値観では対応できないことが起きたりしています。例えば、情報機器の発達と普及によって、SNSでのやり取りからいじめが発生しています。SNSという情報ツールがなかった時には起こりえなかったことです。さらに自分の情報が自分の意志とは関係なく流れて迷惑を受ける場合もあります。SNSの本来の目的とは異なる副産物から人権を侵害する問題が日常生活の中で起きています。さらに、地震や台風などの自然災害によって被災した方々の避難所でのプライバシーの保持や一人ひとりの必要な支援に対して配慮が行き届かないことによって起こる人権課題など、今まで気づかなかったことが浮き彫りになってきました。

あらためて、情報に振り回されない冷静な判断や「相手の立場に立って考えること」や「相手の気持ちを想像すること」の姿勢を持ち続け、そして、相手と自分との違いを認め合う心を育てていかねばならないと思います。人間はまわりの影響を受けやすい存在でもあります。いつの間にか自分なりの価値観が固まり、時にそれが他の人間の考えを受け入れがたくしてしまうこともあると思います。そして、世代を超えて課題がそのまま引き継がれてしまいます。

12月には人権週間があります。この機会に、困っている人の背景にある課題や困難さは何かを考え合うことが大切ではないでしょうか。誰もが困り感を持っているからです。

